

1973 サンレモ国際映画祭 グランプリ “祈り”  
 1977 全ソヴィエト 映画大賞 “希望の樹”  
 1977 テヘラン国際映画祭 金牛賞 “希望の樹”  
 1978 カロヴィ・ヴァリ 国際映画祭 特別賞 “希望の樹”  
 1987 カヌヌ国際映画祭 審査員特別大賞・国際批評家連盟賞 キリスト教審査員賞 “懺悔”  
 1987 シカゴ国際映画祭 審査員特別賞 “懺悔”  
 1988 ソ連アカデミー賞 作品賞・監督賞・主演男優賞 撮影賞・脚本賞・美術賞 “懺悔”

岩波ホール創立50周年記念 特別企画



ვედრება

# 祈り

〈祈り〉〈希望の樹〉〈懺悔ざんげ〉

## 三部作

世界中に分断と対立が  
 広がる現代に贈る  
 ジョージア(グルジア) 映画界  
 伝説の巨匠  
 テンギズ・アブラゼ監督  
 渾身のトリロジー



人の美しい本性が、滅びることはない。『祈り』より

# ジョージアの巨匠テンギズ・アブラゼ監督、渾身のトリロジー 世界映画史の金字塔『祈り 三部作』を、この夏、一挙上映!

コーカサスの国ジョージア（グルジア）に、映画が誕生して今年で110年。歴史あるジョージア映画は、草創期より自国の民族文化を積極的にとり入れて、ソ連邦時代をとあして独自の発展を遂げてきた。そして激動する時代の影響を受けながらも、シェンゲラヤ監督『放浪の画家ピロスマニ』、イオセリアーニ監督『落葉』など、数々の名作を製作してきた。その豊富な作品群のなかで、テンギズ・アブラゼ監督が20年近くの歳月をかけて完結させた『祈り 三部作』は、ひときわ燦然たる輝きを放っている。



## 祈り ვედრება

Vedreba / 1967年 / ジョージア映画 / ジョージア語  
白黒 / 78分 / シネマスコープ / DCP / 字幕 児島康宏  
(原作: 富士原インターナショナル6月刊)

日本初公開。19世紀ジョージアの国民的作家V・ブシャヴェラの叙事詩をもとに、モノクロームの荘厳な映像で描いた作品。ジョージア北東部の山岳地帯に住むキリスト教徒とイスラム教徒の因縁の対立を描き、敵味方を越えた人間の尊厳と寛容を謳う。

© "Georgia Film" Studio, 1968 © RUSCICO, 2000



## 希望の樹 ნატვის ხე

Natvis Khe / 1976年 / ジョージア映画 / ジョージア語  
カラー / 107分 / スタンダード / DCP / 字幕 児島康宏

20世紀初頭、革命前のジョージア東部カヘティ地方の美しい農村。時代の大きな変化を予感して村人たちはそれぞれに動揺していた。そのなか美しい娘と青年の純愛は古い掟と因習のために打ち砕かれてゆく。20世紀を代表するG・レオニゼの短編集が原作。

© "Georgia Film" Studio, 1977 © RUSCICO, 2000



## 懺悔(ざんげ) მონანიება

Monanieba / 1984年 / ジョージア映画 / ジョージア語  
カラー / 153分 / スタンダード / DCP / 字幕 松澤一直  
監修 児島康宏

架空の地方都市で、元市長の墓が何者かに暴かれ、犯人の女性が捕らえられる。彼女の証言によって、元市長の独裁により、多くの市民が粛清されたことが明らかになってゆく。スターリン時代を描いたといわれ、ソ連邦のペレストロイカの象徴となった。

© Georgia Film, 1984 © RUSCICO, 2003

古代の叙事詩のオーラを醸すこの三部作には  
歴史には残らないエモーションが刻みつけられている。 島田雅彦さん(作家)

岩波ホール創立50周年記念 特別企画「祈り」三部作 配給: ザジフィルムズ 後援: 在日ジョージア大使館

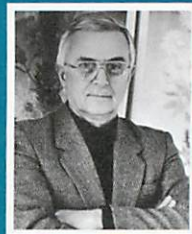
[www.zaziefilms.com/inori3busaku/](http://www.zaziefilms.com/inori3busaku/)

## テンギズ・アブラゼ თენგიზ აბულაძე (1924-1994)

1924年、ソヴィエト連邦グルジア共和国クタイシ生まれ。モスクワ大学卒業後、友人のレヴァス・チヘイゼと劇映画第一作『青い目のロバ』(’55)を共同監督し、カンヌ国際映画祭短編グランプリを受賞。以降、『祈り』では宗教の対立、『希望の樹』では因習、『懺悔』では独裁者によって困難を強いられる市井の人々を描き、社会的不正義を告発し続けた。しかし、その根底には人間への限りない信頼があり、寛容性、愛、自由への深い祈りが込められている。

私たちは、長い間、血なまぐさい方法で善良さを根絶やしにしてきたことの報いを受けています。自分の過去を葬った者は、現実に近づくことも、未来を見ることもできないのです。最大の罪は恐怖なのです。三作品はたくさんの考えによって互いに繋がっています。その中心にあるのは倫理の問題であり、私が最も重要なテーマの一つと考えているのは“罪悪感のない罪悪”です。

テンギズ・アブラゼ監督 生前のインタビューより



8月4日(土)より9月14日(金)まで

特別鑑賞券 好評発売中!

1回券 1,500円 3回券 3,900円

特別鑑賞券を劇場窓口でご購入の方に特製ポストカードをプレゼント!

※1回券ご購入の方は「祈り」「希望の樹」「懺悔」の3種類から1枚。給付は選べません。  
※3回券ご購入の方は3枚セットでプレゼント。※数量限定。※岩波ホールでの販売は9/3まで。  
※当日券(1作品) 一般1,800円 学生・シニア1,500円  
(3作品通し券) 4,800円 - 当日のみ有効 - ※料金は全て税込



岩波ホール 03 (3262) 5252  
<http://www.iwanami-hall.com/>

地下鉄(都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線)  
神保町駅 A6 出口すぐ上 JR(中央線)水道橋駅  
または御茶水駅・下車徒歩12分 神保町交差点角

上映時間	祈り	希望の樹	懺悔	祈り
月~金	11:00	13:00	15:30	19:00
土・日・祝	11:00	13:00	15:30	18:30